夕食も全て宿が決めて、門限や風呂に入れる時間も決められている。客はあくまで宿側のルールに従って滞在を楽しませていただく、というスタイル。

しかし、時代は変わった。10人の観光客がいれば10通りの楽しみ方があるように、国や人種、世代によってホテルや宿での過ごし方、旅先で何を食べるのかというニーズも多様になっている。観光業界としても昭和のビジネスモデルから転換しなくてはいけない。

との事でした。宿泊業として、共感できる部分と出来ない部分はありますが歩いて行ける距離に飲食店がないとそもそも成立しません。五頭温泉郷では現状不可能に近いですが、新しいお店が出来て共存が出来れば人材の雇用や地域の活性化に繋がるので非常に興味深いので、今後は先を考えて地域と旅館を盛り上げられるよう常にアンテナを張っていきたいと思います。

【幹事報告】臼井幹事

・こいのぼりを泳がせる会から準備作業等の案内が来ています。要請ではなく、作業をしていますというお知らせです

・他クラブ例会変更のお知らせ

【委員会報告】

・出席報告…若月正和さん

本日の出席は２１人で７０．３%でした。

・ニコニコボックス…梶山貞義さん

〇本人誕生日祝いお礼…丸山正孝さん

〇伊勢神宮に無事参拝できました…鈴木康寛さん

本日合計…　６，０００円

本年累計…５２２，１００円

・玉ねぎの収穫…若月正和さん

６月１５日水原中学校中庭で行います。今のところ７名の参加です。参加できる方はお申し出ください。

【卓話】丸山正孝さん

　「道の駅あがの」の現況について

・来場者の推移…２年目に入って前年比90％位、年間で58万人ペースです。立ち上げの事業計画で年間55万人を見込んでいたのでほぼ当たっていると思います。これが本来の集客率だと思います。今年に入って客足が落ちることはありません。

・売上高は前年度比９５．６％で農産物は90％以下に下がっています。物価高、景気の影響もあり、飽きられない商品づくりを目指しています。フードコートは逆に伸びています。２月の大雪の時以外は伸びています。オペレーションも慣れてきてリピーターも増えていると思います。

・事業の実施状況…いろいろな団体や学校、議員さんなども訪れます。事業の実施にはかなりの準備作業がかかっています。行政に協力を仰ぎながら実施しています。

・新規事業の取り組み…阿賀野市は「オーガニックビレッジ」宣言をしています。笹神地区が昔から取り組んでいる「ゆうき米」を全市に広げていくというもので、昨年は学校給食に有機米を使っています。今年は園芸にも広げていくということで、その出口を「道の駅」に担ってほしいということです。今年度補助金申請をしていて、たぶん採用されると言われています。道の駅での店頭販売だけでなく、ふるさと納税の返礼品や百貨店、生協パルシステムなど新規の市場開拓をしていきたいと思います。

　佐渡市と広域観光連携をねらっての両市長のトークイベントも行いました。

　去年からヤスダヨーグルトやサンとピアなど客足が落ちているそうです。他の市に取られていると感じているそうです。五泉市などはスタンプラリーなど盛んにやっているようです。バイパスも開通しますので道の駅がゲートウエイになり市内にお客さんが流れていく様な役割を担っていきたいと思います。